

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	①あずましプラン推進会議の運営 (3.9)
目的・目標	地域住民・関係機関・団体等と協働し、計画に定める具体的な事業推進に関し、あずまし計画の進行状況の確認と評価を適時実施して、町民へ周知をする。そのために、策定委員会の委員を中心に、その委員会の名称を「あずましプラン推進会議」に変更する。
実施内容 (令和4年度)	令和4年10月13日 第1回あずまし推進会議 18名出席 内容: 第2期あずましプラン事業実施報告 第3期あずましプラン上半期報告 令和4年度町民フォーラム(案)について 令和4年11月7日 第2回あずまし推進会議 17名出席 内容: 町民フォーラムに向けて検討・準備 令和5年3月2日 第3回あずまし推進会議 内容: 第3期あずましプラン評価について 意見交換

事業名	②中核となる町内会や各団体との事業の連携 (評価なし)
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
フォーラムの 意見	・悩み事を知られたくない人もいるため、話しやすい場づくりを検討していきたい。 ・行政の地域担当職員と連携し、町民の声を聞く体制を作っていきたい。 ・町民フォーラム等の参加について、町内会の人たちに周知し参加してもらえるようにしていきたい。ほっこりトーク会の開催を検討していきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	③町民フォーラム (4.4)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和4年度)	令和4年11月13日(日) 33名参加 内容: 社協のあずましプランの本気度 グループワーク【町民のプランへの本気度】
フォーラムの 意見	・人とのつながりをもつ。高校生の力を貸りる。 ・話し合いの場を多く持てるような場を作る。 ・高齢者や障がい者と気軽に関われる場所を作る。

事業名	④子ども・未来・まちづくりサミット (4.3)
目的・目標	町の子どもたちに、町の福祉について興味を持ってもらうことを目標とする。
実施内容 (令和4年度)	・11/13(日)町民フォーラム 高校生による活動報告 ・2/25(土)ボランティアスクール(冬) 小学校総合学習発表
フォーラムの 意見	・高齢者・障がいのある人との関わり方について、子どものうちから知ることによって理解が深まる、困った人が居たら助けるということが当たり前の社会を作るために、知る機会をつくる。 ・生活と福祉という授業で高齢者カフェを開いて高齢者の方に来てもらい、交流の場をつくる。

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑤認知症サポーターの養成と活躍の場づくり (4.3)
目的・目標	近年、高齢化に伴う認知症高齢者の増加が社会問題となっているが月形町においても同様である。認知症の方々が、安心して地域で生活ができるよう、認知症について正しい知識をもち、本人や家族を応援するボランティア「認知症サポーター」の養成を行いながら、認知症の方々の活躍の場づくりについて考えていく。
実施内容 (令和4年度)	・令和4年度ボランティアミーティング 29名参加 6月25日(土) 内容:講話「楽しい認知症介護について」 講師:保坂 昌知 氏(月形藤の園 園長) ・ボランティアセンター講習会 40名参加 令和5年2月4日(土) 内容:サバイバルメシ・コンテスト 災害講話:「もしもの災害に備えて、今からできること」 講師:杉本 孝二 氏(月形町役場総務課)
フォーラムの意見	・認知症の症状がありながらも自宅で暮らすことができる仕組み作り、公的サービスは少ないためその他のサービスの充実が望まれる。

事業名	⑥小・中・高校生における福祉総合学習 (4.0)
目的・目標	町内の福祉事業所と協力し、総合学習を通して月形小・中・高校の生徒が福祉やボランティア活動に興味関心をもち、町内の福祉の現状や仕事について積極的に考えてもらう。
実施内容 (令和4年度)	・小学校1年生 令和4年10月25日 あずまし茶屋参加者との交流 ・小学校3年生 令和4年11月1日 手話体験 - 令和4年11月15日 車椅子体験

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑦ボランティアスクール (4.4)
目的・目標	小学生以上を対象とし、ボランティアについての知識や理解を深め、これからの地域福祉の担い手となるボランティア育成とボランティア活動の啓発・普及・活発化を推進する。
実施内容 (令和4年度)	・ボランティアスクール(秋) 34名参加 10月15日(土) 内容:スポーツゴミ拾い大会 in 月形町 講話:「月形町のゴミの取り組みについて」 講師:播谷 達樹 氏(月形町役場住民課) ・ボランティアスクール(冬) 令和5年2月25日(土)予定 内容:『月形小学校1年生・3年生の総合学習』発表 講習会『命を守る一枚の布の魔法』 講師:横山 芳江 氏(日本風呂敷文化協会 代表)

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑧アクティブボランティア (3.8)
目的・目標	今後、高齢者が介護や支援が必要になっても、出来る限り住み慣れた地域で安心して暮らすために、様々な団体による支援などが一元的に提供される「地域ケアシステム」の構築が求められている。そのためには、高齢者自身やその周囲の地域住民の協力が不可欠であり、住民主体の支援体制作りの担い手を養成する。
実施内容 (令和4年度)	・今年度は4名の方が、ボランティア活動や研修会等に参加し、アクティブボランティアの養成を修了している。 (ふれあいサロン、世代間交流会、福祉講演会等に参加している方々を対象とする。)

事業名	⑨世代間交流会 (4.5)
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していけるよう働きかける。
実施内容 (令和4年度)	・令和4年8月2日(火)第1回世代間交流会「スマホ教室」基礎編 46名参加(町民24名、法人・役場職員17名・外部講師5名) ・9月13日(火)第1回世代間交流会「スマホ教室」マイナンバー編 43名参加(町民23名、法人・役場職員15名・外部講師5名) ・9月29日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」LINE編 44名参加(町民25名、法人・役場職員14名・外部講師5名) ・令和5年3月11日(土)第2回世代間交流会「ポンポンアニマルキット作りとお楽しみ抽選会」
フォーラムの 意見	・ニーズのマッチ ・学校との連携 ・事業の継続、拡大 ・尖ったイベント

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑩地域での顔の見える付き合いづくり【新規】（4.7）
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。
実施内容 (令和4年度)	地区サロンの定期的開催 別紙 ・赤川1ふれあいサロン 10回開催、延べ119名参加 ・市南ふれあいサロン 9回開催、延べ58名参加 ・赤川3ふれあいサロン 8回開催、延べ87名参加 ・市北6ふれあいサロン 10回開催、延べ110名参加 ・北農場1ふれあいサロン 9回開催、延べ145名参加 ・土曜日サロン 16回開催、延べ160名参加

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑪生活支援のための人材育成と活躍の場づくり（4.1）
目的・目標	地域福祉を支える地域住民による生活支援の知識やスキルを高め、支え合いの体制を強化するとともに人材を発掘する。
実施内容 (令和4年度)	・生活支援協議会 内容:「有償ボランティアについて(グループワーク)」 第1回 6月29日(水) 第2回 8月18日(火) 第3回 9月28日(水) 第4回 12月12日(月) 第5回 1月31日(火) 第6回 3月下旬(予定)

事業名	⑫スキルアップ研修（3.6）
目的・目標	福祉の担い手となる方々のスキルアップ向上を図るため、町内福祉施設職員等を対象に、福祉職員としてのスキル等を学ぶ。今後、互いに協力し月形町の福祉を支えていくための仲間づくりを行う。
実施内容 (令和4年度)	令和5年3月17日(金)開催予定 「北海道キャリアパス支援事業」より補助金を受けて開催。 対象者:福祉施設・事業所、行政職員等 内容:「チームビルディングを学ぶ」 講師:船木幸弘氏(藤女子大学人間生活学部 准教授)

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	①心配ごと相談・福祉総合相談 (3.2)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和4年度)	・総合相談1件 ・特例貸付(コロナ関連)相談3件(電話3件) ・緊急小口資金0件 ・総合支援資金0件 ・心配ごと相談0件
フォーラムの 意見	・民生委員との連携 ・事業のアピール不足があるので、じゃんじゃんアピール(PR)する ・ポスターの掲示 ・IP放送活用 ・月高校生と協力する。お助け隊とタイアップする。(IP放送。1日ずつ違う人) ・広告をしてもらう。テレビ、ラジオ、球場など ・社協以外の行事(行政や町内会、団体)ごとに参加して、事業のPRをする。

事業名	②サロンでの普段着相談【新規】 (3.7)
目的・目標	集いの場において、気軽に相談できる場を提供し、住民と一緒に情報提供体制を整える。
実施内容 (令和4年度)	・各地区サロンで開催中に参加者に対し、今後サロンで取り入れて欲しい内容などを聞き、実施している。 (例)介護保険に関する講話 ・あずまし茶屋では職員2名を配置し、話を聞く体制を取っている。

事業名	③地域の防災対策の把握【新規】 (4.3)
目的・目標	大規模災害への防災対策に向け、町内会等を中心とした災害前中後の支援体制の確認や、駐在所との支援体制の確認を行う。また、福祉施設との災害時の情報共有と対策の強化を図る。
実施内容 (令和4年度)	・災害訓練の参加(10/21行政実施) ・令和5年2月4日(土)ボランティアセンター講習会 40名参加 内容:サバイバルメシ・コンテスト 災害講話「もしもの災害に備えて、今からできること」 講師:杉本 孝二 氏 ・令和5年2月25日(土) ボランティアスクール(冬)予定 内容:『月形小学校1年生・3年生の総合学習』発表 講習会『命を守る一枚の布の魔法』 講師:横山 芳江 氏(日本風呂敷文化協会 代表)
フォーラムの 意見	・相談を受ける→対応できる所につなげる、橋渡し ・災害の後のこと、片付けなどボランティア

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	④「見守り推進事業」の対象者への支援【検討】（4.1）
目的・目標	災害時に、見守り推進事業の対象者に的確な指示ができるよう、日頃から行政区や見守りサポーター等と情報交換をしながら連携強化を図る。
実施内容 (令和4年度)	・見守り対象者44名(前年比4名減) ・令和4年度新規対象者13名 ・見守りサポーター6名 ・見守り担当者会議 毎月1回実施(参加者:保健福祉課、居宅介護支援、社協) ・見守りサポーター意見交換会:4回(4月、7月、10月、1月)
フォーラムの 意見	社協にしてほしいことの見解はなし

事業名	⑤福祉施設との連携強化【検討】（評価なし）
目的・目標	町内は福祉施設が多数あり、災害時等の地域住民の受け入れについて連携強化するとともに、支援体制のネットワークづくりを進めていく。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に 向けて	令和5年4月中旬 あずまし会議開催予定

事業名	⑥あずまし食堂の運営（4.7）
目的・目標	参加者やボランティアが一同に介して楽しく食事をするることによって、食生活の改善及び健康の増進、並びに地域社会との交流や孤独感の解消、閉じこもり防止を図ることを目的とする。
実施内容 (令和4年度)	別紙 ・あずまし食堂運営委員会 令和5年1月18日、2月15日、3月15日(予定) 3月 あずまし食堂運営ボランティア視察研修

事業名	⑦世代間交流会（4.6）
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していけるよう働きかける。
実施内容 (令和4年度)	基本計画1-⑨再掲

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑧フードバンクの設置【新規】 (3.7)
目的・目標	住民同士の役割を支え、地域の居場所づくりをつなぐサロンや食堂等へ食べ物を通して食と人を繋げる役割とする活動を行う。
実施内容 (令和4年度)	令和4年11月8日(火) ・令和4年度 花と野菜の直売所花の里月形 親睦会出席 あずまし計画の中のフードバンク事業について説明、次年度より協力、仕組みづくりの提案をする。 ・月形黒毛和牛母牛研究会より食材提供 (10月20日あずまし食堂にて)
フォーラムの 意見	・雪の聖母園にお願いする ・農家から野菜など、余った収穫物を寄付してもらう ・団体と協力していく ・町内で各世帯に呼びかける

事業名	⑨町内会でのサロン (4.6)
目的・目標	気軽に楽しくおしゃべりをしたり、健康体操・子育ての相談・情報交換・趣味活動などを通して、地域の中での居場所作りや仲間作りを行う。
実施内容 (令和4年度)	別紙
フォーラムの 意見	・社協はしっかり頑張っている。 ・便利な情報、今の時代、新しい情報を知らないで損をする。 ・見合った給料もらえているか。

事業名	⑩土曜日サロン(障がい者) (4.5)
目的・目標	地域で障がいのある方を対象に、社会参加や交流の場づくりを目的とする。サロンの中で個々の役割を持ち、やりがいのあるサロン活動を運営する。
実施内容 (令和4年度)	別紙

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑪まんまるカフェ(母子) (3.8)
目的・目標	子育て中の親子が、子育てに関する考えや悩み等を情報交換しながら交流を図ることを目的とする。また、地域のボランティアとの交流によって子育て中の孤独感を解消し、子育てを楽しみ、育児者の心を休めることも目的とする。
実施内容 (令和4年度)	8月3日(水) 「プールで水遊び・子供縁日」 参加者なし 10月12日(水) 「みんなで、ハッピーハロウィン!!」 参加者なし 12月8日(木) 「サンタさんからのクリスマスプレゼント配布会」 38名参加

事業名	⑫男の料理教室 (評価なし)
目的・目標	どこの家庭にもありそうな食材を使用し、家庭料理を作り、参加者の「生活力」に自信をつける。料理をしたことのない方も気軽に参加できる内容で、健康的な食生活を習慣に出来るよう、正しい食材の選び方や栄養学などの知識を身につけることを目標とする。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に向けて	・周知方法と実施回数の見直し、担い手の育成を検討していきたい。

事業名	⑬オープンサロン【新規】(評価なし)
目的・目標	あずまし拠点(温泉ホテル)を活用し、自主的グループ集いを支援する。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に向けて	温泉ホテル改修工事となり、新たな拠点探しを行い、住民周知していきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. ずっしりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑭月形温泉ホテルを拠点とするあずまし交流プラザの運営(4.4)
目的・目標	共生社会の創造を目指し、町民が主体的に運営する拠点づくりと、誰もが気軽に協働しながら交流する仕組みづくりを行う。
実施内容 (令和4年度)	・あずまし食堂 参加者延べ497名 4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、9月15日 10月20日、11月17日、令和5年1月19日、2月16日 3月16日(予定) ・あずまし茶屋 参加者延べ126名 4月26日、5月24日、6月28日、7月26日、9月27日 10月25日、11月22日、12月20日、1月24日 2月28日(予定)、3月28日(予定)
次年度に向けて	道の駅建設により、温泉ホテル改修工事となり、現在の場所が利用できないため、新たな拠点探しを行う。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑮地域見守り推進事業(町受託事業) (4.6)
目的・目標	町全体で見守りの体制づくりを行い、孤立化や孤独死の未然防止を図ることにより、安心して住みなれた地域で暮らしていける体制づくりを行う。高齢者が気軽に相談できる場所(相手)を確保し、見守り事業を通して孤立化を防止し、さらに地域での自然なかたちで声かけや隣近所のつながりの強化を図る。
実施内容 (令和4年度)	・見守り対象者44名(前年比4名減) ・令和4年度新規対象者13名 ・見守りサポーター6名 ・見守り担当者会議 毎月1回実施(参加者:保健福祉課、居宅介護支援、社協) ・見守りサポーター意見交換会:4回(4月、7月、10月、1月)

事業名	⑯生活支援コーディネーターの運用(町受託事業) (4.3)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和4年度)	・生活支援協議会 内容:「有償ボランティアについて(グループワーク)」 第1回 6月29日(水) 第2回 8月18日(火) 第3回 9月28日(水) 第4回 12月12日(月) 第5回 1月31日(火) 第6回 3月下旬(予定) ・コーディネーター研修の参加 8月8日(月)令和4年度 生活支援コーディネーター養成研修「養成研修編」(オンライン) 10月21日(水)令和4年度 生活支援コーディネーター養成研修「フォローアップ編」 1月30日(月)令和4年度 生活支援コーディネーター連絡会議(オンライン) ・あずまし食堂 ・あずまし茶屋 別紙

事業名	⑰検討委員会の運営とモデル事業の実施【検討】 (4.0)
目的・目標	住民主体による在宅ケアづくりを進めるために、在宅ケアの方法やみんなで考える機会や場づくりを進めるとともに、支え合う一つの方法として「サービスの有償化」について考える。
実施内容 (令和4年度)	・生活支援協議会 内容:「有償ボランティアについて(グループワーク)」 第1回 6月29日(水) 第2回 8月18日(火) 第3回 9月28日(水) 第4回 12月12日(月) 第5回 1月31日(火) 第6回 3月下旬(予定) ・令和5年3月 モデル地区(市北行政区・北農場1行政区)実施
フォーラムの意見	・若い人で除雪が出来る人を集めて、派遣するために、IPを使って呼びかける。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	①情報提供および相談【新規】（評価なし）
目的・目標	気軽に相談し、情報提供が受けられる仕組みづくりの体制をつくる。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に向けて	・事業のPRが不足しており、ポスターの掲示や社協以外の行事に参加し、事業の周知を行っていききたい(IP放送等も検討)。

事業名	②福祉除雪サービス(町受託事業)（評価なし）
目的・目標	高齢者や障害者世帯へ冬期間の除雪が困難で、支援が必要な世帯に対し、除雪サービスを実施し、日常生活の維持及び緊急時における避難経路の確保を図るとともに、高齢者等の世帯の経済的支援及び冬の暮らしの安全確保を行う。
実施内容 (令和4年度)	委託先はサトニクラス 登録人数43人(前年度+9人) ※括弧内は前年の実績数 12月 実施人数11人(4人) 延べ件数42件(4件) 1月 実施人数9人(6人) 延べ件数25件(10件)
フォーラムの意見	・無償サービスではない。除雪のやり方等それぞれあるが、ある一定の料金をもらってやった方がいい。ただではできない仕事。 ・防災の意味での判断(窓雪など) ・平成24年大雪以来申し込み減少 福祉除雪 ・担い手不足 札幌市ご近所除雪シーズン2万円 社協でマッチング ・除雪ボランティアをもっと増やす

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	③配食サービス(町受託事業) (評価なし)
目的・目標	高齢者が食に関し、自立した生活が送れるよう、その必要なものに対し、定期的に食事を届けることにより、食生活の改善を通じて健康保持を図るとともに安否の確認、配食を通じてコミュニケーション及び高齢者の福祉の向上を目的とする。
実施内容 (令和4年度)	・配食利用人数 ※括弧内は前年の実績数 4月:19名(19名) 5月:19名(19名) 6月:20名(26名) 7月:22名(26名) 8月:22名(26名) 9月:25名(24名) 10月:24名(23名) 11月:24名(23名) 12月:23名(23名) 1月:24名(22名) ・配食総数:2,449食(2,502食) ・行事弁当:5月13日(金)べこもち(こどもの日) 9月9日(金)まんじゅう(お月見) 12月23日(金)ショートケーキ(クリスマス) 3月3日(金)桜餅、うぐいす餅(ひな祭り) 予定 ・8月26日 町との打ち合せ(配食回数、容器等について変更検討) ・1月6日 配食容器変更(使い捨て容器)
フォーラムの 意見	・60代からのニーズもあり ・毎日食べたい ・「HACCP」(ハサップ)食品衛生管理が制度化され、クリアできる業者がない。 ・アレルギーや成人病対応のメニューを広げるとスケールメリットも課題になる ・本来の目的で良しとするか? 広げるか? ・栗山社協は専属のスタッフで対応している。作る人たちを集めてみてもいいのでは。 ・事業としてやっていける仕組みづくり

事業名	④福祉有償運送 (4.7)
目的・目標	満65歳以上及び心身の障がい並びに疾病等の理由により歩行が困難な者や移動の制約を受ける者に対してリフト式車両及びセダン型車両による移送サービスを提供し、福祉の向上を図ることを目的とする。
実施内容 (令和4年度)	・利用会員登録数:102名(123名) ※括弧内は前年の実績数 ・利用回数 4月:63回(60回) 5月:75回(68回) 6月:68回(77回) 7月:59回(77回) 8月:43回(78回) 9月:53回(61回) 10月:60回(58回) 11月:58回(69回) 12月:65回(68回) 1月:50回(51回)

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑤日常生活自立支援事業(道社協受託事業) (評価なし)
目的・目標	高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある在宅で生活している方への福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスをし、権利擁護の視点から日常生活支援を行う。
実施内容 (令和4年度)	・利用件数 4月:3件 5月:3件 6月:4件(モニタリング調査実施) 7月:4件 8月:3件 9月:3件 10月:3件 11月:3件 12月:4件(モニタリング調査実施) 1月:2件 2月:3件 ・利用者 2名 ・支援員 1名 9月30日(金)開催 令和4年度 日常生活自立支援事業不正防止研修(Zoom) 10月24日(月)開催 令和4年度 日常生活自立支援事業 生活支援員・自立生活支援専門員・指揮監督者研修(Zoom) 令和5年2月1日(水)～3月17日(金)開催 令和4年度日常生活自立支援事業倫理研修(オンデマンド研修)

事業名	⑥心配ごと相談・福祉総合相談窓口の周知 (3.7)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和4年度)	基本計画2-①再掲 基本計画2-②再掲

事業名	⑦生活福祉資金貸付(道社協、月形社協) (評価なし)
目的・目標	貸付制度が利用できない低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立と生活の安定を目指す。道社協で行っている貸付制度では、町社協が相談窓口となり民生委員の相談窓口を行う。また、月形社協協の貸付制度では、緊急一時的な貸付についても対応を行う。
実施内容 (令和4年度)	・特例貸付(コロナ関連)相談3件(電話3件) ・緊急小口資金0件 ・総合支援資金0件 ・月形町社協貸付0件

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑧生活支援体制整備事業 (4.0)
目的・目標	高齢者世帯が増えている中、生活支援、介護サービス、高齢者の社会参加を地域全体で考えながら支援していくことを目指し、コーディネーターの配置や、協議体の開催を行い、地域包括ケアシステムを作っていく。
実施内容 (令和4年度)	基本計画2-⑩再掲
フォーラムの 意見	・ニーズ、声を聞く、多種多様(病院の付き添い) ・高齢者の生活全体をみるしくみづくりを考える。 ・ボランティアの専門性

事業名	⑨生活支援コーディネーターの運用 (4.1)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和4年度)	・基本計画2-⑩再掲

事業名	⑩生活支援サービスの整備、充実・生活支援サービス(有償含む) (3.7)
目的・目標	介護保険サービス外の生活支援サービスについて有償での在宅福祉サービスのあり方を検討するとともに、社協における有償サービスを推進し、多様なニーズに対応した生活支援の充実を実現する。
実施内容 (令和4年度)	・月形社協生活支援サービス事業(有償) 利用なし ・基本計画2-⑪再掲

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑪訪問介護、居宅介護、移動支援、地域活動支援センター（評価なし）
目的・目標	介護保険法、障害者総合支援法に基づき、入浴、排泄、食事の介助、移動その他生活全般にわたる介護や支援を行う。地域活動支援センターは障がい者の日中活動の場として創作活動、余暇活動支援を行う。
実施内容 (令和4年度)	・訪問介護、居宅介護、移動支援 ○高齢者(介護) 4月9名、5月11名、6月9名、7月7名、8月5名、9月7名 10月9名、11月6名、12月6名、1月7名、2月5名(見込) ○高齢者(総合事業) 4月5名、5月5名、6月6名、7月7名、8月6名、9月7名 10月5名、11月5名、12月5名、1月5名、2月6名(見込) ○障がい者 4月12名、5月13名、6月13名、7月13名、8月12名、9月13名 10月12名、11月13名、12月10名、1月12名、2月12名(見込) ・地域活動支援センター 利用者8名 ・共生デイサービス 支援センター利用者2名

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	①町民フォーラム (4.5)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和4年度)	基本計画1-③再掲

事業名	②福祉情報の提供、社協だより「ふれあい」の発行(年4回) ホームページ(SNS・Facebook)等での情報発信 (4.1)
目的・目標	地域住民、関係機関へ地域福祉推進のための情報を提供し、事業の協力、協働を行っていける体制づくりを目指す。
実施内容 (令和4年度)	・広報誌社協だより「ふれあい」 7月・10月・12月・3月予定 ・ホームページ更新(毎月5日) ・9月26日 第4回社協理事会にてSNS運用方針承認 ・令和5年2月 Facebookページ開設

事業名	③地域の実態や福祉ニーズの把握、支援のあり方など情報の共有化と活動、民生児童委員協議会への参加 (4.2)
目的・目標	地域の福祉実態やニーズ、問題等について、関係機関との共有を図り、地域福祉の推進を進めていくためのネットワーク作りを行う。また、民生委員・児童委員との協力体制を強め、それぞれの地域課題について解決できるようにしていく。
実施内容 (令和4年度)	・民生委員児童委員協議会への参加 5月、7月、10月、11月、12月、1月、3月(予定) ・見守り事業の情報提供と連携 ・福祉除雪サービス事業の周知 ・配食サービス申請の同行訪問 ・地区サロンの参加協力

事業名	④社協の基盤整備、あずましプランの推進、地域包括ケアシステムの構築 (4.2)
目的・目標	経営組織や財務規律の強化、地域における公益的な取り組み実施等が求められる中、今後の事業、組織運営のあり方を見据え必要な対応を図りながら住民からの福祉のまちづくりへの期待に応えるため、より一層の事業推進を行い、理解と協働を得ながら地域福祉の仕組みづくりを目指す。
実施内容 (令和4年度)	・職員12名(正職7名、嘱託3名、パート2名) ・地域貢献活動(土曜日サロン・安心サポート事業) ・8月、会長副会長交代、新理事2名就任 ・外部業者による任意監査を定期的の実施し、社協の事業、財政状況について報告を行っている。

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑤地域福祉ネットワーク推進協議会の実施、福祉団体・関係機関等との連携 (4.7)
目的・目標	住民福祉に関する事業及び活動のより活性化と効率化を目指し関係団体、機関並びに住民相互の連携を図り地域福祉の一層の推進を強化する。
実施内容 (令和4年度)	・地域福祉ネットワーク推進協議会 第1回 6月20日(月) 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体 行政区代表 22名参加 内容:令和3年度事業・決算報告、令和4年度事業計画・予算、令和4年度新任研修会について 令和4年度第1回世代間交流会について、意見交換 第2回 9月29日(木) 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体 行政区代表 18名参加 内容:令和4年度新任研修会について、令和4年度第1回世代間交流会「スマホ教室」について、令和4年度キャリアパス支援研修進捗状況について 令和4年度第2回世代間交流会について協議、意見交換 第3回 3月開催予定 内容:令和4年度事業報告、令和5年度事業について協議 ・新任職員研修(施設、企業、行政等) 19名参加 7月21日(木) 参加者:各福祉施設等職員、町内企業従業員 内容:町内福祉施設等バス周遊、グループワーク等 ・世代間交流会(年3回) 8月2日(火)第1回世代間交流会「スマホ教室」基礎編 46名参加(町民24名、法人・役場職員17名・外部講師5名) 9月13日(火)第1回世代間交流会「スマホ教室」マイナンバー編 43名参加(町民23名、法人・役場職員15名・外部講師5名) 9月29日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」LINE編 44名参加(町民25名、法人・役場職員14名・外部講師5名) 令和5年3月11日(土)第2回世代間交流会「ポンポンアニマル キット作りとお楽しみ抽選会」(予定)

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑥ボランティアセンターの充実 (4.7)
目的・目標	住民の主体的な地域活動参加を促進していくために、地域組織の基盤整備や、地域課題に取り組む先進的な活動への支援を行い、活動を通して活動者自身が生きがいを持ち、学びや成長を得られるようにする。また、住民活動により、まちづくりの推進を図っていく。
実施内容 (令和4年度)	・ボランティアセンター運営委員会 6月10日(金) 内容: 令和3年度事業・決算報告、令和4年度事業計画・予算について、令和4年度ボランティアミーティングについて 令和4年度ボランティアスクール、センターまつりについて ・令和4年度ボランティアミーティング 6月25日(土) 参加者: 29名 内容: 令和3年度ボランティアセンターの取り組みと第3期あずましプランについて(社協事務局より) 講話: 「楽しい認知症介護について」 講師: 保坂 昌知 氏(月形藤の園 園長) 意見交換等 ・ボランティアスクール(秋) 34名参加 10月15日(土) 内容: スポーツゴミ拾い大会 in 月形町 講話: 「月形町のゴミの取り組みについて」 講師: 播谷 達樹 氏(月形町役場住民課) ・ボランティアセンター講習会 40名参加 令和5年2月4日(土) 内容: サバイバルメシ・コンテスト 災害講話: 「もしもの災害に備えて、今からできること」 講師: 杉本 孝二 氏(月形町役場総務課) ・ボランティアスクール(冬) 令和5年2月25日(土) 予定 内容: 『月形小学校1年生・3年生の総合学習』発表 講習会『命を守る一枚の布の魔法』 講師: 横山 芳江 氏(日本風呂敷文化協会 代表) ・令和4年度ボランティアミーティング2 3月25日(土) 予定 内容: 令和4年度ボランティアセンターの事業報告、講話 ・個人ボランティア 67名(前年度+4名) ・団体ボランティア 11団体(前年度+1) 199名(前年度+28名) (除雪ボランティア 5団体 35名 新規 刑務所職員)

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑦ボランティアによるボランティアの会議 (3.3)
目的・目標	地域包括ケアシステムの推進を進めていく中、ボランティアの必要性は不可欠になっており、団体ボランティア同士の交流を通して、地域福祉推進を図っていく。
実施内容 (令和4年度)	令和5年3月25日 各ボランティア団体と取組状況について意見交換 予定

事業名	⑧ボランティアセンターの自主財源の造成【新規・検討】(評価なし)
目的・目標	自主的財源確保の仕組みづくりを考えていく。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に向けて	・共同募金等の活用による財源確保 ・ボランティアセンター事業について住民周知

事業名	⑨関係法人・団体との事業開発 関係法人と組織したあずまし会議の運営 (評価なし)
目的・目標	社会福祉法人等の社会資源を活用した地域貢献活動を支援し、住民ニーズに応えたまちづくりを行う。
実施内容 (令和4年度)	実施できていない。
次年度に向けて	4月中旬開催予定

事業名	⑩法人体制の整備と強化、職員の育成 (4.0)
目的・目標	適切な法人運営のための組織強化をし、会費の有効活用をするとともに介護保険事業等を含めた財源対策、地域福祉活動の一層の推進を一体的に進めていくための整備を行う。
実施内容 (令和4年度)	・法人体制 - 理事会: 第1回 6月9日 第2回 8月10日 - 第3回 8月23日 第4回 9月26日 - 第5回 12月21日 第6回 3月14日(予定) - 評議員会: 第1回 6月24日 第2回 8月23日 - 第3回 3月30日(予定) ・会費状況 - 一般会費 1,213世帯(加入率98.6%) - 賛助会費 36企業 特別会費 7事業所、個人1名 ・職員体制 - 正職 7名、嘱託職員 3名、パート2名 計12名 - 職員研修、会議 毎月1回実施

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑪あずましプラン実施計画の作成、実施および見直しさらに改善 (4.2)
目的・目標	あずましプラン実施に向け、実施事業・活動を具体的に推進していけるよう実施計画書を作成し、事業の明確化、見直しを各関係機関と共に事業推進を進めていけるようにする。
実施内容 (令和4年度)	・基本計画1-①再掲